

授業概要

各種発達障害や軽度知的障害の特性や支援の在り方について講義する。また、その支援体制を構築するための特別支援教育制度とその背景となる考え方としてインクルーシブな視点について講義する。授業においては、これらの内容を主体的に学べるよう、特別な支援が必要な人の事例をもとにディスカッションなどの活動を行う。

授業計画

第1回	発達障害とは
第2回	様々なタイプの発達障害
第3回	LDの心理特性と発達
第4回	LDの支援
第5回	ADHDの心理特性と発達
第6回	ADHDの支援
第7回	自閉症スペクトラム症の心理特性と発達
第8回	自閉症スペクトラム症の支援
第9回	軽度知的障害の心理特性と発達
第10回	軽度知的障害の支援
第11回	インクルーシブな視点と特別支援教育
第12回	教育の場と自立活動
第13回	個別の指導計画及び個別の教育支援計画
第14回	各種関係機関や家庭との連携
第15回	発達障害以外の特別なニーズを要する児童、まとめ
第16回	定期試験

到達目標

発達障害や軽度知的障害のある人の特性を知り、その特性を踏まえた支援の在り方を理解する。また、発達障害や軽度知的障害のある人のための支援体制を理解する。

履修上の注意

授業には主体的に参加することが重要です。その一方で、主体的に参加しようとする気持ちがありながらも、授業の進め方やディスカッションへの苦手さのために、上手く取り組めない場合は、対応を検討しますので、教員に相談してください。やむを得ず授業を欠席する場合、授業資料は出席する受講者にとっておいてもらうようにしてください。遅刻・欠席をした場合、出席した受講者から授業内容を確認しておいてください。

予習・復習

ディスカッションなどを行うにあたり、発達障害に関する基本的な知識についての予習・復習を授業外で行う必要があります。そのための課題については授業内で案内します。

評価方法

課題などを含めた授業への主体的な参加 40%、定期試験 60%によって評価する。

テキスト

テキスト：なし。適宜資料を配布する。

参考資料：文部科学省「特別支援学校学習指導要領解説自立活動編(幼稚部・小学部・中学部・高等部)」